

第 5 6 回
東北地方交通審議会
船員部会議事要録

平成 25 年 6 月 28 日
東北地方交通審議会
船員部会事務局

東北地方交通審議会

第56回船員部会

日 時 平成25年6月28日(金) 15:30~

場 所 仙台第4合同庁舎 4階会議室

出席者 公益委員 : 長谷部部会長、村上部会長代理、清水委員、箭内委員
労働者委員 : 高橋(雅)委員、鈴木委員、正路委員(欠席)
使用者委員 : 鶴本委員、佐藤委員(欠席)、湯村委員

運輸局 : 本田海事振興部長、阿部海事振興部次長
遠藤海上安全環境部船員労働環境・海技資格課長
鈴木海事振興部船員労政課長、淀川労政係長

議 題 (1) 管内の雇用等の状況について
(2) その他

配付資料

- 資料1 船員職業安定業務取扱状況説明資料(4月分)
- 資料2 新規求人・求職数(東北管内:3年対比)
- 資料3 有効求人・求職数(東北管内:3年対比)
- 資料4 新規求人・求職数(全国)
- 資料5 有効求人・求職数(全国)
- 資料6 有効求人倍率(東北管内)
- 資料7 有効求人倍率推移(全国)
- 資料8 最低賃金の改正に係る検討資料
- 資料9 新聞情報

議 事 概 要

◎開 会

【海事振興部次長】

〔第56回船員部会の成立について報告〕

〔配付資料確認〕

◎議 事

(1) 管内の雇用等の状況について

【部会長】

それでは早速、議事に入りたいと思います。

お手元にある議事次第の議題(1)管内の雇用等の状況について、事務局から報告願います。

〔船員労政課長より資料1～7に基づき報告〕

【部会長】

どうもありがとうございました。何かご質問、ご意見等ございますでしょうか。

【高橋委員】

資料1の3ページの「管内取扱件数」の中で、新規求人の漁船の「その他」が先月より10件ほど増えているのですが、業種は何でしょうか。

もう一つが新規求職のほうで、やはり漁船の「その他」がこちら12名ほど増えていますが、どういった方が求職されているのか。離職されているのでしょうか。

【船員労政課長】

まず、求人の「その他」21件の内訳は、さんま漁船が2件、漁業調査船が2件、小型さんまが10件、漁業取締船が1件、小型の大目流し2件、まき網1件、いか釣り1件、小型いか釣り1件かに籠が1件となっております。

求職の「その他」は、巻き網が7件、いか釣りが6件、漁業調査船が2件、さんまが3件という内訳になっています。

【部会長】

よろしいですか。何かご意見ございますか。

【高橋委員】

4月からというのと、随分早くから小型のさんま船が求人をかけているのですね。もしかすると鮭・鱒にも出る船で、これは管内のものですね。

【船員労政課長】

小型のさんまは、石巻地区で。1つの船から大量に、1隻から5名とか3名という形で求人が出ています。

【高橋委員】

わかりました。

【部会長】

後学のために、わかりましたら内容を教えてください。

【高橋委員】

要は、小型の沿岸の船で働いてくれる人がいないということですよね。やはりまだこの震災の影響ということですね。

【部会長】

なるほど。

【鶴本委員】

小型のさんま船が少ないということですか。

【高橋委員】

乗る方がいないのです。

【鈴木委員】

さんまの小型船というのは、一番早い船で7月の初めからもう出るのですよね。9.9トンが7月の初めから出るので、そういう船がちょっと人探ししているのですかね。

【鶴本委員】

管内ということは、瓦礫片づけとか何かに行っているのかと。

【鈴木委員】

それもあるのでしょうか。さんま船は季節的なものですから。今ちょうど人を探して乗せていて、あと10月、11月で切り上げるという感じなので。だから、その場その場で頼むのが結構小型は多いのですよね。

【部会長】

その場その場で、雇えないからここに出てくるという形ですね。

【鈴木委員】

そうです。ずっと年間で雇えないので、人を使うときだけ頼んで、また終わったら放すという感じで頼まなくてはならないので、そんな感じになるのです。年間雇用というのがなかなかできないということなのでしょうね。

【鶴本委員】

今年は、特に乗組員が不足しているということもあるのだろうなと。

【鈴木委員】

そうなのでしょうね。これを見ると。

【部会長】

なるほど。求人倍率は陸のほうでもずっと上がっていますよね。そういう数字が出ていますよね。

【鶴本委員】

建築関係なんかは凄いのでは。

【部会長】

よろしいでしょうか。少し何かわかったような気がします。

ほかにございますか。

それでは、了承していただいたということで次に進めたいと思います。

では、資料8のほうの説明をお願いいたします。

[海事振興部次長より資料8について説明]

【部会長】

ありがとうございます。ご意見、ご質問等ございますか。

【高橋委員】

去年、大分議論をしましたので、今年は是非お願いしたいと思っているのですが、この消費者物価指数もそうですし、生計費の推移のほうも去年より上がっていますので、ぜひ最賃の改定の諮問をしていただきたいなと思っておりますので、その辺、よろしくお願ひしたいと思っております。

あと、つけ加えますと、宮城県内の沖底に関しては、昨年度と同じような水揚げ状況になっています。ただ、プロジェクト「がんばる漁業」をやっている部分では固定となっていますけれども、それ以外の船3隻もやっていますけれども、そちらのほうも昨年度と同じような水揚げ状況になっています。油は高いですけれども、決して悪い状況ではないと思っております。

【鶴本委員】

「がんばる漁業」の3隻というのは、近海ですか。

【高橋委員】

沖合で、75トン型のものです。

【部会長】

この発言に対して、事務方のほうから何かありますか。

【海事振興部次長】

今お話があったようですが、「がんばる漁業」などで補助が出ている部分もありますので。

燃料費につきましても、今年また水産庁の方で、単価が上がった上の部分につきましては前は半分の補助だったのですが、さらにそれを4分の3まで上げるという、そういった補助もつくられているようですので。その辺も加味しますと、かなり経営側としても前よりは少しはいいのかなという感じは思っております。なので、その辺も含めて、これからそういう資料をもって決定したいと思っております。

【部会長】

よろしいでしょうか。基本的に行政的な判断で決めていくものですから、いろんなところで発言していただければ、それは判断の材料になるということでしょうか。協議して決めるという類いのもではありませんので、そこら辺を十分に了解しながら行動していただければと思います。それでよろしいでしょうか。

では、また何かありましたら、ご発言等してください。

(2) その他

【部会長】

次の議題ということで、情報交換をしたいと思います。

労働者委員のほう、いかがでしょうか。

【高橋委員】

お配りしています「平成26年度より宮城県水産高校が変わります」という資料ですが、これは前回、宮城水産のほうで地域連携推進会議という準備委員会を開く、ということでお話をしました。ですが、当日に用事があり出席できなかったものですから、昨日、先生のほうから聞いてきました。26年度から調理師のほうのクラスが増えるということで、宮城水産では今度で2回目の学科改編になるということです。

それで、この会議の趣旨は「地域の課題解決に向けた教育活動に関すること」「学校から地域への教育資源の提供に関すること」「地域における実地研修の実施に関すること」「地域から学校への講師等の派遣に関すること」「その他地域と学校との協働に必要となる事項」という事のようにすけれども、要は、この学校で育てた人材を地域でどうやって生かすか、それによって地域を盛り上げていこうという事が趣旨のようです。

それと今、食育ですか、そちらのほうで魚離れが大きい。肉と比べるとやはり魚を摂る方が少ないということで、そちらのほうに力を入れるということも言われていました。

この会議の座長は、石巻商工会議所の会頭の浅野さんで、宮城ヤンマーの社長です。次回の具体的な会議は9月の初めに開催するということになっております。

あと、来月の2日から4日まで、うちのほうで「FOC・POCキャンペーン」、これは外国船舶の査察活動ですけれども、八戸を中心に酒田、秋田と仙台、石巻港で実施します。

【部会長】

ご質問等、ございますか。清水委員のほうから何かありますか。

【清水委員】

今回は別に無いですね。

【部会長】

使用者委員のほうは無いですか。

【湯村委員】

特にこれといった話題は無いのですけれども。以前、復興需要を見越して中国・四国地方からのガット船、ガット船というのは砂利とか砂とかそういった復興に欠かせない資材の運搬に適した船型なのですが、そういった船が東北のほうに集結しているというような情報をお話したことあったのですけれども。最近また耳にした情報によりますと、こちらでのフル稼働を期待して船を集めていたらしいのですが、なかなか思ったような荷動きが無いということと、あと船運賃が非常に安いと。たたかれて非常に安く使われるので、とてもこれじゃ商売にならないということで、一度は集結した状況だったのですが、また元の故郷に戻りつつあるという状況です。

秋口からいよいよ本格化と言われておりますけれども、そういった運賃が非常に安いという状況を考えると、今後の復興のスピードにも影響してくるような事態になるのではないかなというような、ちょっと懸念材料を感じました。

【部会長】

復興スピードが遅いということですか。

【湯村委員】

昨年あたりから、もう来月からとか、新年度からとか、この秋口からというようなそういった期待されるような情報が流れていたのですが、結局その時が来ても全然始まらないと。今現在はこの秋口からというような状況にはなっているのですが、思ったような荷動き、要するに復興が進んでいないということになりますよね。

でも、高台移転とか幹線道路とかそういった陸上の復旧は大量に進んでいるのでしょうし。完成率なんかを見ましても結構進んでいるのだなというような感想は持つのですけれども、護岸工事とか防波堤とかあいつたものについてはまだ10%台ぐらいしか復旧が進んでいないのですよね。ほとんどもう手つかずで、港に関しても、暫定使用ができるような状況にはとりあえず手を加えていますけれども、本格的な改修にはまだまだ至っていない。それもやっぱり十数%ぐらいの復旧率ですから、本当にそういった面で本格的な復興というか、セメントでいえばセメントの

本格的な需要というのはまだまだこれからかと。

【鶴本委員】

私は、気仙沼出身で現在は仙台に住む人と仙台駅の方面から来たのですが、東口ですか、計画から25年ぐらい経ってようやくこれまでになったという話を聞きました。気仙沼に限らず被災地の復興が進んでいなくて、復興ができたなら人がいなくなってしまうようなことを凄く心配しています。なるほど、と私もそういうふうに考えました。

【部会長】

そうですね。復興できない。人がいなくなる。

【鶴本委員】

一般に言われているように、遅いのだと思うのですよね。うちでも、自宅の事務所の倉庫もやられたので、まだ家も建てられないでいますし、やっぱり高台移転が進まない。それから、倉庫も良い所に建てたいと思っても、かさ上げがまだ2年も先だと。思ったような所に建てられない。でも、無いと商売もできないものですから、なんとか我慢した所に建てたのですけれどもそのような状態で。

【部会長】

この道、また遠しですね。

【鶴本委員】

そうだと思いますね。やっぱり被災地の人口は、大分減っているのではないですかね。数字に出てきている以上に。

【部会長】

住民票を移さないで出ちゃっていると。

【鶴本委員】

はい。

【部会長】

今日はちょっと否定的な暗い雰囲気は漂っていますけれども、全体としては決して悪い数字ではないのだと思いますので、これからいろいろまたやらなきゃならないことが出てくると思います。せめて意見交換をしながら、物事がうまくいくような、役に立てばこの部会も何かの意味があるかなというような思いもあります。ということで、皆さんどうぞ活発に情報等の提供をよろしくお願ひしたいと思っています。

それでは、ほかに何かございますか。

【海事振興部次長】

「海フェスタ」のパンフです。去年に一度お知らせはしていたと思うのですが、来月13日から28日まで秋田の男鹿市で開催されるということで、そのPRということで。うちのほうも総合展という中ではブースを出して会社関係のPRの形でやる予定にしております。

そのほか中身を見ていただくと、保安庁の船、航海訓練中の帆船、旅客船、整備局の海上で清掃する船が来るなど、いろんな枠を超えてのこともありますし、地元ならではのイベントも企画されております。うちのほうも今一生懸命、力を入れてやっておりますので、ぜひ皆さんもお近くの方に「こういうのがあります」ということをお知らせしていただければ助かるかなと思っています。連休に行ってくるのもコマーシャルということで、よろしくお願ひします。

【部会長】

では、ご協力ください。

【湯村委員】

これの会場の設定とか、こういった事というのは何処が、ここの自治体が決めるのですか。

【海事振興部次長】

「海フェスタ」の開催ということですか。これにつきましては、国交省のほうで方針を決めています。

【海事振興部長】

これは「何処か、やる所はありませんか」と募集をしまして、手を挙げた所という感じで。

【海事振興部次長】

来年については「舞鶴」ということで、この前決定したと本省でプレスしておりました。

元々は「海の記念日」ということで、全国1カ所で大々的に皇室もお招きしてやるということでしたが、「海の記念日」から「海の日」に変わり、国民の祝日となって。ただ、やり方としては毎年どこか1カ所、希望する市町村があればそこを中心にフェスタを開催するというので募集しております。

男鹿は、本来であれば昨年開催の予定だったのですが、23年の震災で尾道が1年ずれたせいもあって今年になっているということがございます。なので、震災の年はちょっとイベントのほうはということで延期になりましたので、ちょっとずれて来ていて。来年は決まっているのですがその次は来年以降になれば募集かけるというような格好なのか、手を挙げて「やりたいです」という所があれば、そちらのほうと調整する形になるかと思えます。

【湯村委員】

内航海運でも展示ブース、イベントに出していただいてPR活動させていただくことになっているのですけれども。

【海事振興部次長】

最終的には間もなく全体バージョンのパンフができるような話もあるのですが、まだいつになるか連絡が入っていませんので。もしそういったものが届きましたら、また次回にもお話しできるかと思っています。

【湯村委員】

この間、地元の秋田の海運関連の方とお話をしたのですが、全然地元では盛り上がりがないということで、果たしてこれ本当にできるのかなと不安になるぐらいの状況らしいですよ。私も記念式典には参加させてもらうのですが、とにかく交通の便が悪いですね。本当に人が集まるのに何でこういった場所でやらなきゃいけないのかなと思うぐらい不便なところですよ。

【海事振興部次長】

男鹿が手を挙げたのは、秋田のほうから秋田港と河口のところが基本的な部分はあるのですけれども、船川港というのが昔からあって、そこが開港100周年で何か開港を記念した形で当初やりたいということであったみたいなので、そういうことであればということで決まったようなのです。私も途中から担当しているものでちょっと細かい経過はわからないのですが、何か船川港が開港してから100年ぐらいになるということを記念してやりたいということでやりましたけれども、ちょっと震災の絡みでずれてしまいましたけれども。

そういったことで、うちのほうでも大船渡とかでやったりして、そういったところでは地域の歴史とかそういったものも加味してやっています。

【清水委員】

去年の尾道の総合展の会場が海から遠くて、人がぱらぱらと閑散としていたというふうなこと

で、うちも海の総合展を今度男鹿のほうで出しますが、お客さんは来るのかなと。大分海岸から遠いですからね。やっぱり心配をしていますね。

【海事振興部次長】

総合展に関しては、駅からシャトルバスを運行する予定にしているようですので。男鹿までがちょっと遠いということもあるのですが、駐車場が結構あるようですので。駅の方面から主要なイベント会場をシャトルバスが走る予定にもなっておりますので、それほど不便ということでもないと思います。

【湯村委員】

朝一に新幹線で行こうと思っても無理なのですよ、式典の場合は。だから、前日からということになるのですけれども、前日の宿泊場所がえらいまた遠いなのですよ。それで、私もそれをあきらめて、もう朝4時頃の出発で、車で行こうと思っていました。

【海事振興部次長】

観光地なので、ビジネスホテルのような一人宿泊、シングルというのがあまりなくて。世帯向けというか、そういった何人か向けの部屋しかないということなのですから。息抜きを兼ねて何泊かして全部見ていただければ楽しめるのではないかと思います。

【湯村委員】

一人で温泉に泊まっても、何か寂しいですよ。

【部会長】

駐車料金なんかは取られるのですか。

【海事振興部次長】

会場周辺は無料になるはずですよ。

【部会長】

無料ですか。ああ、そうですか。

【海事振興部次長】

民間の会社の駐車場も何か借り上げるような話もありますので、そこそこにはあるのかと思います。

【部会長】

よろしいでしょうか。では、いろいろと大変ですが、よろしくお願いします。

それでは、今日の議事は以上で終了ということでよろしいでしょうか。

では、運輸局に返します。

◎閉 会